

国際認証取得拡大緊急支援事業

【200百万円】

対策のポイント

EU諸国及び東南アジア諸国等に対する農畜産物・加工食品の輸出拡大に向け、有機JAS認証等の取得や日本発GAPの国際規格化を進めるための環境整備等の取組を支援します。

<背景／課題>

- ・「総合的なTPP等関連政策大綱」においては、高品質な我が国農林水産物の一層の輸出拡大により、「2019年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の達成を目指す」としています。
- ・有機JAS認証を取得した農産物及びその加工食品については、EU加盟国への輸出に当たって改めて相手国の認証を受けなくとも「オーガニック」と表示して販売することができる「有機同等性」が認められており、近年、EU加盟国向けに我が国の有機食品の輸出が増加しています。
- ・また、日本の農畜産物・加工食品は、その高い品質がアジアをはじめとする諸外国で評価され、年々輸出額が増加する中、さらなる輸出の促進のためには、日本発GAP認証が国際承認を得て、アジアで主流の仕組みとなるよう普及を進めていくことが重要です。
- ・一方、日本の農業者においても、海外で食品安全管理の基準の標準化が急速に進んでいる中、国際的に通用し、相互に認め合える日本の規格・認証の必要性が高まっています。
- ・このため、有機JAS認証等の取得や、日本発GAP認証の国際規格化に向けた環境整備の取組を推進していく必要があります。

政策目標

- 農林水産物・食品の輸出額を拡大
(7,502億円(平成28年)→1兆円(平成31年))
- GAP認証について、平成29年4月時点の3倍以上の認証取得
(平成31年度末)

<主な内容>

1. 有機JAS認証等取得等支援

農畜産物・加工食品の輸出拡大に向け、農業者等による有機JAS認証及びGLOBALG.A.P.認証の取得のために必要な取組を支援します。

〔補助率：定額（機械等のリース導入については1／2以内）
事業実施主体：協議会等〕

2. 日本発GAP認証の国際規格化に向けた環境整備

日本発GAP認証（ASIA GAP）の国際規格化に向けた環境整備のため、国際情勢等研修の開催、日本発GAP認証の取得、GAP審査員の育成等の取組を支援します。

〔補助率：定額
事業実施主体：民間団体等〕

お問い合わせ先：生産局農業環境対策課

1の事業のうち

有機JAS関係 有機農業推進班 (03-6744-2114)

GAP関係 生産工程管理班 (03-6744-7188)

2の事業 生産工程管理班 (03-6744-7188)

国際認証取得拡大緊急支援事業

平成29年度補正200百万円

EU諸国及び東南アジア諸国等に対する農畜産物・加工食品の輸出拡大に向け、有機JAS認証等の取得や日本発GAP認証の国際規格化を進めるための環境整備等の取組を支援します。

(1) 有機JAS認証等取得等支援

背景

・EU向け有機食品の輸出数量の拡大 (単位:t)

仕向先	品目	2014年	2015年	2016年
EU加盟国	茶	222.7	360.4	444.3
	こんにゃく	13.4	18.2	21.7
	梅加工品	7.4	24.3	44.6

農林水産省食料産業局食品製造課調べ

・EUにおける有機食品の市場規模は年々増大
総売上額4.0兆円、2014-15市場成長率7.5%
(独:約1.2兆円、仏:約7,400億円、英:約3,500億円)

事業内容

<補助率:定額、1/2>

- 有機JAS認証の取得、輸出向け商談、輸出向け新商品開発、技術講習会の開催、機械等リース等を支援
- GLOBALG.A.P.認証の取得、輸出向け商談等を支援

事業実施主体

協議会等

効果

- 有機同等性の仕組みを利用したEU向け輸出の拡大
- 国内有機農業取組面積の拡大
- 取引先からの要求に応じた、GLOBALG.A.P.認証取得者数の拡大



(2) 日本発GAP認証の国際規格化に向けた環境整備

背景

国産農産物の強みや適正な管理を海外にアピールし、輸出を促進するため、国際的に通用する規格・認証の重要性が増す中、国内の生産者が取り組みやすい日本発GAP認証の国際規格化が求められている。

事業内容

<補助率:定額>

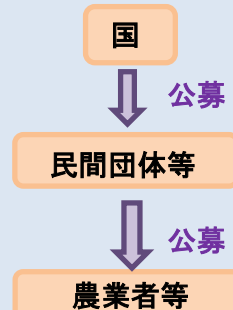
次に掲げる取組を行う事業者を支援します。

- (ア) 世界食品安全会議(2018年、東京)の機会を活用し、国内農業者等のGAPに関する理解を深めるための国際情勢等研修の開催等に関する取組
- (イ) 日本発GAP認証の取得者数の拡大に向けた認証取得支援の取組
- (ウ) 認証取得拡大のボトルネックとなっているGAP審査員数の拡大に向けた審査員育成支援の取組

事業実施主体

民間団体等

事業実施フロー



効果

- GAPの理解や国際規格化の意義等の浸透
- 国際的に通用するGAP認証の推進
- 審査員数不足解消による認証取得の加速化

<日本発GAP認証の国際規格化>

- 輸出促進・海外展開の加速化
- 日本の国際的な議論への関与推進